

第 3 表 水和剤駆除による損益計算 (反当)

目	水和剤使用			無 処 理			差 引 (損) 益
	数 量	単 價	金 額	数 量	単 價	金 額	
薬 剤	(500g入) 17袋	100	1,700				
人 夫 賃	3.4人	200	680				
苗木枯損	320本	2.50	800	2,178本	2.50	5,445	
計			3,180			5,445	2,265

33. MH 30 の散布がスギ実生苗に及ぼす影響について

人吉営林署 養 原 節 也

目 的

成長抑制剤MH 30 をスギ実生苗1年生に散布する事により、スギ実生苗の秋伸びを防止し、ひいては健全苗を育成し、山床植栽時に於ける活着率を向上させ

ることを目的とした。

ヤクスギ実生苗の成長経過

薬剤を散布する時期を決定するには、先ず床替の成長経過を知る必要がある。第1表はその調査表である。

第 1 表 ヤクスギ実生苗一年生月別伸長及氣象表 (昭和 29 年 4 月～昭和 30 年 3 月)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	全年
苗 長 (cm)	11.4	12.57	15.6	21.8	27.5	33.8	40.1	45.1	48.6	49.8	50.6	50.8	
月 伸 長 (cm)	—	1.17	3.03	6.2	5.7	6.3	6.3	5.0	3.5	1.2	0.8	0.2	
平均気温 (°C)	18.3	21.8	23.8	26.8	27.5	25.2	21.1	18.5	13.2	13.9	12.3	14.0	21.0
雨 量	311	698	988	411	545	506	479	273	97	238	109	336	4,989

毎月 25 日 300 本平均

MH 30 の散布について

第1表で明かなように10月以降の伸長が相当あり、秋伸びの分が徒長型になり易い関係から、10月以降の伸長を抑制する目的で10月5日にユレインサンを散布した。各区100本とし各区とも床替時15cmのもののみ植付け、施肥量は同一とし、各区は夫々3m離

した。

散布量は m^2 当約1合、各個体の表面が一通りしめる程度とした。散布量は濃度を30倍、50倍、100倍、150倍とした。この薬剤散布の結果、全部伸長を停止した。この苗木を3月末掘取り調査した結果は第2表の通りである。

第 2 表 各 処 理 別 形 質 比 較 表

種 別	苗 長	全 重	根 重	枝 幹 重	枝 巾	T. R 率	備 考
無 処 理	56.7	148.5	23.13	125.37	34.7	5.42	苗間16×16cm 苗間14×14cm 各100本平均
MH30 30倍液	39.6	84.07	16.56	67.51	23.1	4.07	
// 50 //	44.5	83.05	14.19	68.86	24.5	4.85	
// 100 //	43.2	91.71	17.72	73.99	25.2	4.17	
// 150 //	42.0	126.0	26.11	99.89	30.7	3.82	
// 200 //	45.8	101.8	25.7	76.10	27.5	2.96	

山床植栽の成績

さてユレインサン 30 を散布した結果は第 2 表の通り、まずその効果が認められた。しかし山床に造林し

た場合、枯損が多く、薬剤の害により、変則な成長をなしても困るのである。それで山床植栽試験を実施したのであるが、その結果は第 3 表の通りであった。

第 3 表 山 床 植 栽 結 果 表

	無 処 理	M H 30 30 倍 液	M H 30 60 倍 液	M H 30 120 倍 液	M H 30 240 倍 液	挿 木 苗	備 考
枯 損 苗 (本)	6	0	2	2	5	0	各 30 本 30 年 3 月 植 栽 30 年 11 月 調 査
活 着 率 (%)	80	100	93	93	83	100	
植 付 時 苗 高 (cm)	71.7	43.9	47.1	51.0	47.6	35.0	
調 査 時 苗 高 (cm)	98.4	71.4	76.0	84.1	77.2	48.0	
伸 長 (cm)	26.3	33.1	31.9	33.5	31.0	13.0	
伸 長 率 (%)	137	162	161	164	162	137	

活着率については、MH 30 を散布したものが無処理に比し活着良く、効果のあつた事を示している。成長状況については、さすがに薬の作用を受けて頂芽は全々伸長しておらず、頂芽に最も近い所から側芽が伸

びている。そして旧頂芽の部分は注意しないとわからない位である。伸長は MH 30 を散布したものは全部よく伸長している。之は薬で無理に伸長を停止させられた反動なのかも知れない。

34. つばきさゞんかの研究(第1報)

一支那産さゞんかについて

佐賀県林試 熊 瀬 川 忠 夫

I. 母樹の原産地由来生育状況其の他

大体揚子江以南に分布しているが、主に湖南、湖西省一帯及び湖北省の一部が主産地の様である。本母樹は湖南省湖山県点集地方産の種子を昭和 5 年頃内地に持帰り播種育成されたが、その内唯 1 本だけが現在残存している。故に樹令は約 25 年と推定される。生育は中国では相当良好の様であるが、母樹は 23 回移植された関係からか、現在根本径 9 cm, 胸直 2.5, 2.7, 2.3cm, 樹高 2.7m である。中国では本さゞんか油を主に食用、燈用、其の他に使用している様である。

II. 対 象 木

支那産さゞんかを調査するに当り、日本さゞんか 2

本、日本つばき 2 本を対象木として使用した。

III. 各種形態及び大きさの比較

(1) 樹 型

一見してつばきとさゞんかの中間型である。枝の開張具合はさゞんかに似ており、枝の剛直さはつばきに類似している。さゞんかの如く屈曲した小枝の密な上方は全然見られない。

(2) 樹 幹

3 者共ほとんどそれを区別する事は出来ない。

(3) 葉

つばき、さゞんかに比してはるかに浅緑色を呈し、どちらかと云えば黄緑色に近い。

第 1 表 葉 の 大 き さ 及 び 葉 重 比 較

	長 さ (cm)	比率(%)	巾 (cm)	比率(%)	厚 さ (cm)	比率(%)	生重(g)	比率(%)	乾重(g)	比率(%)
さ ズ ん か	4.20	100	2.02	100	0.035	100	0.17	100	0.07	100
支 那 産 さ ズ ん か	5.97	142	3.07	152	0.058	166	0.61	359	0.29	414
つ ば き	8.04	191	3.79	197	0.047	134	0.84	494	0.36	514